

公益財団法人 全国商業高等学校協会 主催
文部科学省 後援

簿記実務検定試験 模擬試験問題

第 2 級

第 3 回

難 易 度		
易	普通	難
○		

解答上の注意

- 1 解答にあたえられた時間は90分です。試験開始後の途中退室はできません。
- 2 問題は全部で6問あります。
- 3 問題用紙の表紙に受験番号を記入しなさい。
- 4 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

受験番号

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現金	当座預金	売掛金	電子記録債権
有価証券	受取商品券	買掛金	電子記録債務
売上	受取手数料	雑益	仕入
手形売却損	雑損	現金過不足	

- a. 栃木商店に対する買掛金の支払いとして、得意先甲府商店に対する電子記録債権 ¥750,000 を譲渡した。
- b. 売買目的で埼玉株式会社の株式 250 株を / 株につき ¥6,000 で買い入れ、代金は買入手数料 ¥26,000 とともに小切手を振り出して支払った。
- c. 山口商店は、商品券を精算するため、商品の販売のさいに受け取った当店が保有する他店発行の商品券 ¥200,000 を同額の現金と交換した。

2 次の各問いに答えなさい。

- (1) 名古屋商店（個人企業 決算年／回 2月3日）における、下記の勘定の（ a ）と（ b ）に入る金額と、（ c ）に入る勘定科目を記入しなさい。

ただし、備品および建物の減価償却は次のとおりにおこなう。

i 備品 取得原価 ￥ 400,000 償却費 25% 定率法による。

ii 建物 取得原価 ￥2,625,000 残存価額 零(0) 耐用年数30年 定額法による。

なお、備品は期首にすべて売却し、代金 ￥210,000 を全額、現金で受け取っている。

備 品	
1/ 1 前期繰越	400,000
1/ 1 諸 口	400,000

備品減価償却累計額	
1/ 1 備 品	175,000
1/ 1 前期繰越	175,000

建 物	
1/ 1 前期繰越	2,625,000
12/31 次期繰越	2,625,000

建物減価償却累計額	
12/31 () ()	1/ 1 前期繰越 700,000
12/31 減価償却費 (a)	
() ()	() ()

固定資産売却 ()	
1/ 1 備 品 (b)	12/31 (c) ()

- (2) 次の文について、下記の各問いに答えなさい。

売買を目的として保有する株式や債券などの有価証券は、証券取引所の売買時点における時価を基準にして売買される。そこで、決算時に所有する有価証券の本来の価値を帳簿に示すため、帳簿価額と時価が異なるときは、その帳簿価額を時価に修正する必要がある。これを、有価証券の という。

- a. 下線部 を英語表記にした場合にあてはまる語を選び、その番号を記入しなさい。

1. Securities 2. Transactions

- b. にあてはまる語を選び、その番号を記入しなさい。

1. 振り替え 2. 評価替え

- (3) 支店会計が独立している静岡商店の下記の取引について、仕訳を示しなさい。ただし、静岡商店は本店集中計算制度を採用している。なお、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現	金	売	掛	金	買	掛	金	売	上			
仕	入	本	店		岡	山	支	店	長	野	支	店

- a. 本店は、岡山支店に現金 ¥3,000,000 を送付した。(本店の仕訳)
- b. 本店から長野支店に商品 ¥1,100,000 (原価) を発送し、長野支店はこれを受け取った。(長野支店の仕訳)

- 3 青森商店の下記の伝票を集計し、ノ月ノ7日の仕訳集計表の(ア)から(ウ)に入る金額を計算しなさい。また、総勘定元帳の売掛金勘定に転記しなさい。
- ただし、i 次の取引について、必要な伝票に記入したうえで集計すること。
- ii 総勘定元帳の記入は、日付・金額を示せばよい。

取引

ノ月ノ7日 広島商店から商品 ¥350,000 を仕入れ、代金は現金で支払った。

ㄥ日 広告料 ¥27,000 を小切手を振り出して支払った。

入金伝票	
売掛金	201,000
当座預金	250,000
売上	599,000
()	()

出金伝票	
支払家賃	56,000
普通預金	660,000
未払金	50,000
()	()

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)	
所得税預り金	200,000	普通預金	200,000
当座預金	330,000	売上	330,000
仕入	140,000	買掛金	140,000
当座預金	308,600	売上	308,600
売掛金	60,000	売上	60,000
売掛金	370,000	売上	370,000
通信費	19,000	普通預金	19,000
買掛金	5,000	仕入	5,000
()	()	()	()

仕訳集計表

令和〇年ノ月ノ7日

借方	元丁	勘定科目	元丁	貸方
		現金		
		当座預金		(ア)
		普通預金		
		売掛金		
		買掛金		
		未払金		
		所得税預り金		
		売上		(イ)
(ウ)		仕入		
		広告料		
		通信費		
		支払家賃		


4

滋賀商店の下記の取引について、

- (1) 総勘定元帳に記入しなさい。
 - (2) 補助簿である当座預金出納帳、受取手形記入帳、売掛金元帳に記入しなさい。
- ただし、
- i 総勘定元帳の記入は、日付と金額を示せばよい。
 - ii 当座預金出納帳・売掛金元帳は月末に締め切るものとする。
 - iii 消費税については考えないものとする。

取 引

／月 ヶ日 和歌山商店から商品を仕入れ、下記の納品書を受け取った。なお、代金は掛けとした。

<u>納 品 書</u>					
滋賀商店 御中			納品書番号：No. XXXXXXX 納 品 日：令和〇年１月４日 和歌山商店 <div style="text-align: right;">  </div>		
下記のとおり納品致しました。			和歌山県和歌山市小松原通1-1 073-XXX-XXXX		
合計金額 79,900 円					
詳 細	数 量	単 位	単 価	金 額	
A品	250	個	¥ 190	¥ 47,500	
B品	90	個	¥ 360	¥ 32,400	
以下余白					

６日 島根商店に次の商品を売り渡し、代金の一部を同店振り出しの約束手形¥51,000（手形番号 # 3, 振出日／月 6 日, 満期日 2 月 6 日, 支払場所: 西銀行本店）で受け取り、残額は掛けとした。

A 品 300 個 @ ¥240
 B 品 50 〃 〃 〃 450

10日 三重商店から次の商品を仕入れ、代金は小切手 # 3 を振り出して支払った。

A 品 205 個 @ ¥220

13日 島根商店に対する売掛金¥25,500 が、当店の当座預金に振り込まれたとの連絡を取引銀行から受けた。

15日 島根商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A 品 80 個 @ ¥270

17日 和歌山商店に買掛金の一部¥71,000 について、小切手 # 5 を振り出して支払った。

20日 和歌山商店から次の商品を仕入れ、代金は小切手#6を振り出して支払った。

B品 60個 @ ¥370

24日 島根商店から売掛金の一部について、次の同店振り出しの約束手形を受け取った。

No. 8 約束手形	
滋賀県大津市御稜町3-1	
収入 印紙	滋賀商店 滋賀一郎殿
	金額 ¥11,600※
上記金額をあなたまたはあなたの指図人へこの約束手形と引き替えにお支払いいたします	
令和○年1月24日	
振出地 住所	島根県松江市殿町1
	振出人 島根商店 島根太郎
支払期日 令和○年3月24日	
支払地 島根県松江市	
支払場所 西銀行本店	
	

島根

全国 5001
1587-067

島根

5

東京商店（個人企業 決算年／回 〃2月3日）の残高試算表と付記事項および決算整理事項は、次のとおりであった。よって、

- (1) 貸借対照表を完成しなさい。
- (2) 損益計算書に記載する貸倒引当金繰入の金額を求めなさい。

残 高 試 算 表			
令和〇年 〃2月3日			
(単位：円)			
借 方	元 丁	勘 定 科 目	貸 方
958,000	1	現 金	
	2	現 金 過 不 足	6,000
2,203,000	3	当 座 預 金	
1,300,000	4	受 取 手 形	
2,000,000	5	売 掛 金	
	6	貸 倒 引 当 金	10,000
1,743,000	7	有 価 証 券	
298,000	8	繰 越 商 品	
1,500,000	9	建 物	
	10	建物減価償却累計額	660,000
3,000,000	11	土 地	
	12	支 払 手 形	997,000
	13	買 掛 金	1,220,000
	14	営 業 外 支 払 手 形	224,000
	15	資 本 金	9,200,000
	16	売 上	10,607,000
	17	受 取 地 代	460,000
7,681,000	18	仕 入	
2,126,000	19	給 料	
165,000	20	保 険 料	
95,000	21	租 税 公 課	
209,000	22	通 信 費	
106,000	23	支 払 利 息	
23,384,000			23,384,000

付 記 事 項

かねて受け取っていた山梨商店振り出しの約束手形¥160,000を、群馬商店に対する買掛金の決済のために裏書きして支払ったが、この記帳をしていなかった。当該手形は決算日において決済されていない。

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 ¥315,000
- b. 貸 倒 見 積 高 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ1%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 建物減価償却高 定額法による。ただし、残存価額は零（0） 耐用年数は25年である。
- d. 有価証券評価高 有価証券は、売買目的で保有している次の株式であり、時価によって評価する。
岩手商事株式会社 300株 時価 1株 ¥5,600
- e. 郵便切手未使用高 未使用分¥27,000を次期に繰り延べる。
- f. 地 代 前 受 高 受取地代のうち¥360,000は、本年8月1日からの1年分を受け取ったものであり、前受高を次期に繰り延べる。
- g. 現 金 過 不 足 決算日において現金過不足の残高は原因が判明しなかった。よって、適当な勘定へ振り替える。

6

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現	金	当 座 預 金	仮 払 法 人 税 等	未 払 法 人 税 等
資 本 金		利 益 準 備 金	別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金
株 式 交 付 費		創 立 費	法 人 税 等	損 益

- a. 佐賀商事株式会社は、法人税・住民税および事業税の確定申告をおこない、決算で計上した法人税等 ¥880,000 から中間納付のさいに納付した ¥350,000 を差し引いた額を現金で納付した。
- b. 福岡商事株式会社は、設立にさいし、株式 600 株を / 株につき ¥14,000 で発行し、全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。なお、設立に要した諸費用 ¥240,000 は小切手を振り出して支払った。
- c. 北海道物産株式会社は、決算の結果、当期純利益 ¥3,450,000 を計上した。

